

Anniversary
Year!!

愛知万博20周年記念事業と
コラボ!

15TH 見る、知る、感じる、そして楽しむ!

介助犬フェスタ 2025

2025.5.17 SAT

🐾 ご協賛・ご協力のご案内 🐾



ご挨拶

平素より社会福祉法人 日本介助犬協会の活動にご理解とご支援、またお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。

5月17日（土）に開催を予定しております「**第15回介助犬フェスタ2025**」についてご案内いたします。

介助犬フェスタは、一人でも多くの方に介助犬や、身体障害者補助犬、当会の活動を皆様にご理解いただくべく、屋外での大規模なイベントとして開催をしており、今回で第15回目となります。

コロナ禍中もオンライン開催・ハイブリット開催にするなどの工夫を凝らして継続してきた介助犬フェスタですが、昨年より2019年以前と同様に完全現地開催となり、ご参加いただいた方からは、「久々にリアル開催で楽しかった」「やっぱり現地開催！」「たくさんの方が来られて賑やかで嬉しかった」など、嬉しいお声を沢山頂きました。参加者の皆様も、私たち職員も、顔と顔を合わせるからこそ湧いてくるもの・体験できること・感じていただけることがあると改めて実感いたしました。

今年は、これまで好評であった **現地・土曜日**開催に加え、会場である愛・地球博記念公園で行われる愛知万博20周年記念事業との **共同開催**の形式が実現することとなりました。

第1回からの介助犬フェスタのコンセプトでもある「**見る、知る、感じる、そして楽しむ！**」をご来場の全ての皆様に体感していただけるよう職員一同準備に励んでまいります。

次頁以降に介助犬フェスタの概要を掲載しておりますので、ご協賛・ご協力・ご支援を賜りますよう、ご検討の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



2025年2月
社会福祉法人 日本介助犬協会 介助犬フェスタ実行委員会



『社会福祉法人日本介助犬協会』とは

日本介助犬協会の活動

「介助犬」育成を中心として、Dog Intervention®（犬による介入）※1や WithYouプロジェクト※2 にも力を入れ、犬を介して人を笑顔にする活動をしています。

※1 Dog Intervention®（犬による介入）とは

医療機関における「動物介在活動（AAA）／動物介在療法（AAT）」や 司法の場で被虐待児等に寄り添う「付添犬」

※2 With You プロジェクトとは

障がい児・者のいるご家庭に丁寧にマッチングして犬を譲渡する



当会の活動の詳細は、日本介助犬協会webサイトをご覧ください。

<https://s-dog.jp>



介助犬とは

介助犬とは、肢体不自由者の日常生活動作を助け、障がい者の自立と社会参加促進のためにトレーニングされた犬のことで、身体障害者補助犬法のもと厚生労働大臣指定法人から認定を受けた犬のことをいいます。

介助犬が必要な理由

日本で、**15,000人**の方々が「介助犬」を必要としています。しかし、**認定を受けた介助犬の数**は、わずか**60頭**（2024年9月末現在）という現実。

※介助犬の適応となりえる、手や足に障がいのある方は全国で**176万人**。

※中でも機能的に介助犬がいれば自立できる可能性がある方の数が**15,000人**。

会長

橋本 久美子

元内閣総理大臣 橋本龍太郎氏 夫人



理事長

高柳 友子

医学博士／2023年 理事長就任



60
15,000



なぜ今、『介助犬』か？

社会のニーズの多様化に応じていく、今後更に注目

今、人と犬をつなぐ取り組みが社会から強く求められています。

様々な方面から応援されています！

<介助犬サポート大使>



橋幸夫氏
歌手



ジューディ・オング氏
歌手、女優、
木版画家



安藤美姫氏
プロフィギュアスケーター



菅野智之氏
プロ野球選手



介助犬サポート大使

厚生労働省、愛知県、三重県、岐阜県、静岡県、
名古屋市、長久手市、宝塚市、地元大学、高校、他多数



60
15,000

様々なメディアで紹介されています！

<ドキュメンタリー>

NHK総合『プロフェッショナル仕事の流儀』ジェネラルマネージャー水上のトレーニングの様子が放映されました。



<朝の情報番組>

TBS『あさチャン』の『あさトク』のコーナーでピックアップされました。



<ドキュメンタリー>

NHK総合『仕事ハッケン伝』女優の佐藤藍子氏が「介助犬訓練士」に挑戦



<出版>

講談社、毎日新聞社、新潮文庫、文溪堂、
大和書房、角川書店、英語教科書、他多数



その他、新聞・雑誌など多数



SDGsの達成に向けた貢献

日本介助犬協会は、「人にも動物にもやさしく楽しい社会をめざして」を事業理念とし、私たちと犬たちの様々な活動を通してSDGsの達成に向けて貢献しています。

はじめに

私たちのすべての活動は犬が取り持つあらゆるパートナーシップ（協力関係）で成り立っています。



詳細はHPをご覧ください →



介助犬 訓練事業

一人でも多くの肢体不自由者が自立と社会参加を果たせるよう良質な介助犬の育成と訓練を行っています。



公益的な 活動

介助犬の他にも犬たちの個性を活かし、「人と犬をつなぐ取り組み」として様々な困難を抱えた方を笑顔にする活動にも力を入れています。



普及啓発 広報活動

介助犬について一人でも多くの人に正しく理解いただけるような普及啓発活動に取り組んでいます。



私たちの 働き方

あらゆるライフステージの変化に応じて働きやすい環境づくりに努めています。



カーボンニュートラル 達成に向けて

2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする取り組みにも貢献していきます。





『介助犬フェスタ2025』実施概要(予定)

第15回は愛知万博20周年記念事業とコラボ開催！

コンセプトの実現を目指し、第14回よりも多くの方々に楽しんでいただけるよう開催します

開催コンセプト

見る、知る、感じる、そして楽しむ！

普段、一度は耳にしたことがある『介助犬』。ただ、それを体験・実感する機会は少ないのが実情。
『介助犬フェスタ』を通して、『見て、知って、感じて』ほしい、そして何より参加者みんなに楽しんでほしい。
介助犬を身近に感じてもらうきっかけづくり、そんな想いで私たちはこのイベントを実施しています。※フェスタ第1回目からのコンセプトです。

概要

- 名称 : 介助犬フェスタ2025
- 目的 : 介助犬と身体障害者補助犬法についての認知向上、普及啓発および障がい者や補助犬に対する理解と啓蒙
- 日時 : 2025年5月17日(土) 10:00~15:00
- 開催方法 : 現地開催
- 会場 : 愛・地球博記念公園 地球市民交流センター
- 主催 : 社会福祉法人 日本介助犬協会
- 共催 : 愛知万博20周年記念事業実行委員会

※「後援」「協賛」は2024年度実績です。(敬称略/順不同)

- 後援 : 厚生労働省、愛知県、三重県、岐阜県、静岡県、名古屋市、長久手市、尾張旭市、日進市、東郷町、宝塚市、中日新聞社、長久手市教育委員会、尾張旭市教育委員会、(社福)愛知県社会福祉協議会、(社福)長久手市社会福祉協議会、(特非)日本補助犬情報センター、日本介助犬使用者の会、(一社)日本身体障害者補助犬学会、(特非)兵庫介助犬協会、(認特非)全国盲導犬施設連合会、(社福)中部盲導犬協会、(公財)日本盲導犬協会、(公財)北海道盲導犬協会、(公財)関西盲導犬協会、(公財)九州盲導犬協会、(一社)優良家庭犬普及協会、(公社)日本聴導犬推進協会、(公財)毎日新聞大阪社会事業団、(社福)AJU自立の家、(公財)日本障害者リハビリテーション協会、(社福)名古屋市総合リハビリテーション事業団、(社福)千葉県身体障害者福祉事業団、(社福)兵庫県社会福祉事業団、(一社)日本作業療法士協会、(公社)愛知県獣医師会、(公社)名古屋市獣医師会、(公社)日本動物病院協会、(一社)日本小動物獣医師会、(公社)Knots、エフチャンネル、ACCJ/NIS チャリティー・ウォーク実行委員会、中部脊髄損傷者協会
- 協賛 : 全国共済農業協同組合連合会、(株)キング観光、トヨタ自動車(株)、(株)リフレックス、稲沢建設(株)、すてっぷ動物病院、愛知陸運(株)、NTP名古屋トヨペット(株)、エムテック・パートナーズ(株)、(株)界文社、キヤノン(株)、(株)クレスコ One%Club、(株)光邦、公洋ケミカル(株)、公洋商事(株)、(株)cieloz azul、JA共済ビジネスサポート(株)、(医)和風会千里リハビリテーション病院、(株)ダイヤモンドソサエティ、(株)中央コンピュータシステム、(税)津田明人税理士事務所、デビペット(株)、東名ブレース(株)、豊田通商(株)、(株)増想、リコージャパン(株)、(株)ユキ印刷工業、あいち尾東農業協同組合、(特非)イロー・エンジェル、(株)AS設備工業、(株)NVC、社会保険労務士法人 亀井労務管理事務所、(株)ケイアンドライフ、(株)サテライトジャパン、(株)CJ、(株)島村工務店、(医)水道町内科 杉山医院、(株)スマホーム、瀬戸信用金庫、(学)高橋学園 札幌どうぶつ専門学校、(株)竹山建設、(株)タッドウェイペット、(有)坪井令夫商店、(有)東名ブーズ、(株)錦建築設計、ネットヨタ中部(株)、(学)福岡安達学園 専門学校福岡ビジョナリーアーツ、(株)ベステック、(株)堀場コンサルタント、(株)メンテック、矢野建設(株)、(学)ヤマザキ学園 ヤマザキ動物看護大学



共同開催

集まれ！あいちの魅力。

会期中の想定来園者数185万人の「愛知万博20周年記念事業」とのコラボレーション
「集まれ！あいちの魅力博。」の長久手市デーと連携

愛知万博20周年記念事業実行委員会との共催！「集まれ！あいちの魅力博」とは？

「愛知万博20周年記念事業」の一つとして2025年5月10日（土）から25日（日）まで実施される「集まれ！あいちの魅力博。」は、愛知県内市町村がブースを出展し、特産品やご当地グルメの販売、ステージイベントなどを通じて、各地域の様々な魅力が楽しめるイベントです。実施会場である愛・地球博記念公園のある長久手市で長年活動を続けてきた団体として、2025年の介助犬フェスタは「集まれ！あいちの魅力博。」と連携して開催することとなりました！

「愛知万博20周年記念事業」とは？

事業名：愛知万博20周年記念事業（愛称：愛・地球博20祭）
会期：2025年3月25日～9月25日までの185日間
※2005年日本国際博覧会（略称：愛知万博）と同じ会期
実施時間：午前10時から午後5時まで（夏季はイベント内容に応じて別途設定）
実施会場：愛・地球博記念公園
公式Webサイト：<https://aichiexpo20th.org>

愛知万博20周年記念事業実行委員会構成委員

愛知県、愛知県市長会、愛知県町村会、名古屋市、瀬戸市、長久手市、元 2005 年日本国際博覧会協会、愛知県商工会議所連合会、一般社団法人中部経済連合会、愛知県経営者協会、中部経済同友会、愛知県商工会連合会、愛知県商店街振興組合連合会、一般社団法人愛知県観光協会、愛知環状鉄道株式会社、愛知高速交通株式会社、中部国際空港株式会社、東海旅客鉄道株式会社、名古屋鉄道株式会社、愛知県女性団体連盟、公園マネジメント会議、中部 ESD 拠点協議会、愛知県社会福祉協議会、愛知県教育委員会、愛知県私学協会、公益財団法人愛知県都市整備協会、株式会社ジブリパーク

以下イベントカレンダーの詳細：<https://aichiexpo20th.org/topics/topics-022.html>



日本介助犬協会の「介助犬総合訓練センター ～シンシアの丘～」は、連携協定を結ぶ長久手市（愛知県長久手市福井1590-51）で開所して15年です。





周年事業（Anniversary Year）としての介助犬フェスタ

日本介助犬協会のアニバーサリーが盛りだくさん！

団体創設 **30**周年 社会福祉法人化 **20**周年 介助犬フェスタ **15**周年
 シンシアの丘 **15**周年 愛・地球博 **20**周年

日本介助犬協会のあゆみ





2011年から計11回リアル開催！

(コロナ禍前後) 地元、愛地・球博記念公園にも定着した、定番イベントとして認知・成長



愛・地球博記念公園（モリコロパーク）開催実績

- | | |
|-------------|--------------|
| 第1回 (2011年) | 第6回 (2016年) |
| 第2回 (2012年) | 第7回 (2017年) |
| 第3回 (2013年) | 第8回 (2018年) |
| 第4回 (2014年) | 第9回 (2019年) |
| 第5回 (2015年) | 第13回 (2023年) |
| | 第14回 (2024年) |



数値実績

来場者数 **7,000** 以上 特設WEBサイト閲覧数 **35,000** 以上 累計記事掲載 **200** 以上



コロナ禍はオンラインでも大好評！

全国から参加可能なオンライン配信や動画コンテンツで好評コメント多数



アーカイブ動画をぜひご覧ください

YouTube 日本介助犬協会

検索



数値実績

動画総再生回数 **20,000** 以上

SNS総リーチ数 **600,000** 以上 特設WEBサイト閲覧数 **30,000** 以上 記事掲載 **200** 以上



実績紹介 - 3

各種メディアで露出実績多数！

200近い記事がメディアで露出！ SNS・WEBで60万以上のリーチ数 (延べ数)



公式SNSのフォロワーも拡大中！

- 14,000人
- 10,000人
- 8,100人

数値実績

記事掲載 **200**以上 累計記事掲載 **1,200**以上



協賛によってご期待いただけること

「対面による」「メディアによる」アプローチが可能

社会貢献活動のひとつとして、大変効果的かつ有意義な取組みとなります。

1. 社会貢献意識の高いターゲットへの認知拡大

第9回まで愛知県長久手市のモリコロパーク開催し、来場者数7,000人以上まで発展した介助犬フェスタは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で近年（第10～13回）はオンラインを中心とした開催としていました。SNS総リーチ数**600,000以上**を達成し、多数の方へ介助犬や当会について情報を広げることができました。

今年は**昨年に引き続き完全現地開催**となり、現地での対面によるコミュニケーション・交流を含め、更なる認知・理解の拡散を目指しています。

介助犬使用者やその支援者、犬好きの方、社会貢献意識の高い方、介助犬サポート大使のファンの方、各種学校関係者など、全国多種多様な方の目に触れるため、**PRの場**としてご活用頂けます。

2. 貴社・貴団体の社会貢献活動の一環として

介助犬は日本で必要としている人が15,000人とされる中、60頭の実働という現実です。（2024年10月現在）

圧倒的に不足している現状のなか、介助犬の普及と育成は世の中に大変求められている活動です。企業の社会貢献活動としてサポートいただくこと、またコースマーケティングの観点からも貴社への様々な影響が期待できます。

3. 事前の露出と事後のパブリシティ効果

事前露出については、特設WEBサイト、プレスリリース、当会のSNS（Facebook、Instagram、X）、等での告知を実施します。また、**200媒体以上**（事前・事後）への露出実績もあり、今年もTV、ラジオ、新聞、雑誌、WEBメディアなど、多くの媒体に取り上げられることが期待されます。





ご協賛、スケジュールについて

スケジュール

※スケジュールは変更する可能性があります。予めご了承ください

協賛・協力申込締切

3月14日(金)

P17の申込書をFAX
またはメールでお送り下さい。

各所へ広報活動を実施

お振込み期限

4月30日(水)

当日

5月17日(土)

ロゴデータ・各種データ承り

※各種データ受領後、随時介助犬フェスタホームページなどへ
掲載しますので、お早目のご提出をお勧めいたします。

ご協賛金

1口 : 50,000円

プラチナ

6口以上

ゴールド

3口以上

シルバー

2口

一般

1口

※次頁より、社名・団体名掲出一覧・イメージを記載しております



社名・団体名掲出一覧

	チラシ	ステージ バック パネル	会場掲示 パネル	webサイト			SNS	ブース
プラチナ (6口以上)	テキスト 社名・団体名	□ 大	□ 大	□ 大	動画 ※1	PRページ 画像5枚以内	単独投稿 支給テキスト告知+支給画像	1ブース ※2
ゴールド (3口以上)	テキスト 社名・団体名	□ 中	□ 中	□ 中	/	PRページ 画像2点	共同投稿 テキスト 社名・団体名	1ブース ※2
シルバー (2口)	テキスト 社名・団体名	□ 中	□ 中	□ 中	/	PRページ 画像2点	共同投稿 テキスト 社名・団体名	/
一般 (1口)	テキスト 社名・団体名	□ 小	□ 小	□ 小	/	/	/	/
協力	テキスト 社名・団体名	□ 小	□ 小	□ 小	/	/	/	/
後援	テキスト 社名・団体名	/	テキスト	テキスト	/	/	/	/

※1：YouTubeに掲載済の動画を埋め込むことを想定（それ以外は応相談）

※2：会場内に出展ブースを設置（長テーブル1本程の大きさを想定、場所の指定はいたしかねます）

※提供していただく、データやテキスト等に関してはP16をご参照ください。

※□表示の大きさ、位置、表示方法について 変更がある可能性があります。予めご了承ください。



社名・団体名掲出イメージ 1

チラシ

【協賛】社名(テキスト表記)



バックパネル

【協賛】社名(ロゴまたはテキスト表記)



※ステージ上でのイメージ



WEBサイト

【協賛】社名(ロゴまたはテキスト表記)



【プラチナ・ゴールド・シルバー協賛】PRページ



【ゴールド協賛】動画・PR動画





社名・団体名掲出イメージ2

SNS

社会福祉法人 日本介助犬協会 公式SNSでの投稿

● Facebook

(<https://www.facebook.com/JapanServiceDogAssociation>)

● Instagram

(<https://www.instagram.com/japanservicedogassociation/>)

● X (旧Twitter)

(https://twitter.com/JSDA_ServiceDog)



※投稿イメージ





各種ご案内

ロゴマークについて ※メール添付でお送りください	
データ形式（推奨）	Illustrator(イラストレーター)・aiデータ
※Illustrator（イラストレーター）・aiデータがない場合 PDF／EPS／JPEG／PNG いずれかの形式で、データ容量0.5～1 MB目安でお願い致します。	
締切	2025年4月11日(金)
送付先メールアドレス	kaijoken-festa2025@s-dog.jp

各種告知物において協賛企業様のロゴマークを掲載を予定しております。

協賛金 振込口座	
銀行名	横浜農業協同組合
支店名	小机支店（コヅクエ）
口座番号	普通 0016578
口座名	社会福祉法人 日本介助犬協会
振込期限	2025年4月30日(水)
※恐れ入りますが、振込手数料のご負担をお願い申し上げます。	

<ご不明点、お問い合わせはこちらまで> TEL : 0561-64-1277

MAIL : kaijoken-festa2025@s-dog.jp 担当 : 松坂・佐川

